



株式会社北九積善社

- 人の心を何よりも大切にした葬儀を
北九州の老舗の葬儀社 -

Colors

こんな会社です

北九積善社は、大正4年創業という非常に長い歴史のある葬儀社です。現在、中央斎場、東山会館、光明会館、引野斎場、戸畑会館、そして中間斎場と、北九州エリアに6つの斎場を営んでいます。身内だけの葬送から、各種団体葬、社葬など、ご遺族の意向に合わせた葬儀を執り行えるよう万全に設備が整えられています。このような体制の基本となっているのは「一人ひとりの心を大切にしたい」という、スタッフ全員に共通する思いです。規模や形式にかかわらず、「お別れをする」という葬儀の原点を非常に大切にしています。創業から90年以上お客様の支持を得ている理由は、おそらくここにあるのでしょう。

Products

製品・サービスの特徴

「まごころ葬」

「お別れの儀式は家族やごく親しい人だけで、心静かに送りたい」 こういった要望が近頃、多く寄せられるようになりました。そこで、北九積善社は故人のそばで心ゆくまでお別れの時間を過ごすことができる「まごころ葬」を提案しています。まごころ葬のコンセプトは、故人とお別れを身内の方のペースでゆっくりと営んでもらい、故人が今までに家族や友人などに尽くしてきた真心を、分かち合ってもらおうというものです。

まごころ葬では、従来の祭壇ではなく、自分たちの自由な発想により祭壇を演出することができます。たとえば、故人が生前たしなんだ趣味やゆかりの品、思い出の地などをテーマとして祭壇を設ければ、参列者が故人の歩んだ人生をたどり、故人が生きてきた重さ、愛情の深さを胸に刻むことができますと考えています。



Topics

我が社のトピックス

▶ ゆいごんバンク

「ゆいごんバンク」とは、葬儀の生前予約サービスのこと。万が一のときに遺された家族に心配・迷惑をかけないよう、自分の葬儀への思い・願い・希望を生前中に書き残す私的な遺言のことです。たとえば、会葬お礼挨拶ビデオを事前に収録しておけば、葬儀中に会葬者に見てもらうことができます。また、「遺されたものへのメッセージ」として、大切な方に自分の想いを届けることもできます。葬儀の内容だけでなく、費用の事前準備のプランも用意されているので安心です。悲しみのさなかに、お金の心配をしたくありませんよね。自分の最後を「自分らしい葬儀」で送ることができるこのサービス。あなたは、自分の最後のセレモニーをどんなものにしたいですか？

Works

こんな仕事があります

葬儀そのものを担当する葬祭ディレクターの仕事をご紹介します。

葬祭ディレクターの資格は、葬祭業に3年従事すれば2級の、5年従事すれば1級の試験を受けることができます。試験は学科試験と技能試験からなり、技能試験では制限時間内に葬儀場の装飾や幕張りが行えるか、司会進行の技術があるかなどが試されます。

葬祭ディレクターが葬儀に携わる期間はおよそ2日半。お客様から依頼が入るとスピーディーに準備を進めていきます。打ち合わせでは遺族の悲しみを理解し、状況を踏まえて行動します。お客様の気が動転しているときは時間や距離をおくことで、落ち着いて話ができる状態を作るようにします。そして、お客様からの要望に最大限こたえられるように努力をします。

年間、何百件もの死と向き合うこの仕事。やはり、仕事とはいえ心が揺れる場面は何度もあるそうです。しかし、そこはプロ。つらく感傷的な気持ちになりそうなときも、仕事を全うすべく線を引くようにしています。

Staff

活躍する社員

東山会館担当 営業一部係長
1級葬祭ディレクター
逸見 光亨さん



Q. どんな仕事をしているのですか？

入社直後は会場の設営や看板の設置など、体力仕事でした。葬儀社は24時間365日体制をとり、電話で依頼を受けるとすぐに病院やご自宅へお伺いします。故人の情報をお聞きした後、2~3人のスタッフとともに葬儀の準備を進めていきます。

Q. 仕事のどんなところが面白いのですか？

この会社に頼んでよかった、あなたが担当でよかった、ありがとうというお言葉をいただく、やりがいを感じます。

Q. 職場の雰囲気はどうですか？

つらく悲しい死と多く向き合う仕事だからこそ、社員同士は普段、明るい雰囲気でお互いを励ましていきます。

Q. その仕事にはどんな能力が必要ですか？

たくさんの方の葬儀のお手伝いをするのでお別れの場面に何度も立ち会うわけですが、慣れてはいけません。お客様にとってはたった一人の大切な人。遺族の方と同じ目線に立つことを心がけなければなりません。

会社DATA

所在地	北九州市八幡東区前田3丁目7-22	資本金	7,560万円
郵便番号	〒805-0069	創立	大正4年1月1日
電話	093-671-2436	社員数	22名 (従業員数34名)
FAX	093-661-0741	売上高	500,000,000円
事業内容	葬祭・生花・造花・霊柩車・仏壇・ギフト	HP	http://www.k-sekizen.co.jp
代表者	越智 英晶	e-mail	main@k-sekizen.co.jp
		グループ会社	株式会社オラシオン

TOP Interview トップインタビュー

常務取締役
営業本部長
高下 博史さん



Q. 企業理念について教えてください。

『大切な家族を喪し 悲しみの中にある 遺族の想いを 親身に受けとめ遺族のなす弔いを 心を込めて支援する』

社訓『以和為貴』のもと、すべての宗教宗派を問わず、儀式儀礼に関わる人生の有終を飾る厳粛な儀式を、遺徳をしのぶ最大の式典であるという信念のもと、霊位に対し、また残されたご遺族に対して、常に誠心誠意でご奉仕させていただいています。

Q. 会社の自慢は何ですか？

この地で創業し、この地域の多くの皆様方よりご用命いただき92年になることです。何事にも前向きで、新しい取り組みに挑戦する姿勢があり、正直で、誠実、いつも最善を尽くすことで、企業理念の実現をしようと行動する。また、一人ひとりが常に新しいサービスや優れたサービスをその時代なりに具現化し、より高い付加価値のサービスを提供し、ご遺族の満足を少しでも高めることを惜しまない。弊社にはそのような社員が多いことです。

Q. 今後の事業戦略について教えてください。

少子高齢化・核家族化に伴い、葬儀の形態が家族から個へ移行する中、葬儀の原点であるとも言える「個」を重んじていきたいです。体裁や形式だけでなく、「お別れ」ということに重きを置くことこそ、葬儀の原点だと思います。そうい

った気持ちを大切に、当社独自の「まごころ葬」をご提案させていただき、今後もお客様の満足度やサービス業としてのプロ意識の追求を続ける所存です。

Q. 座右の銘を教えてください。

Don't think, feel!

この言葉はブルース・リーが弟子に言った言葉としても有名です。現実の問題解決のときに重要なのは論理思考だけではなく、感覚・感性・感情といった「感」の部分がないとうまくいきません。右脳と左脳、どちらかに偏った考えでは、判断を間違ってしまう。臨機応変にバランスよく対応することが重要だと考えています。

Q. 今の若者に一言。

何でもいい、多くの努力や経験をして欲しい。それが夢へ向けての始まりだから。

Impression

インタビューを終えて

葬儀社の仕事はどういうものなのかがわかり、非常に興味深かったです。生前予約のを知り、自分の死や葬儀について考えることは決して暗いことではなく、自分の最後を自分で演出できることは素晴らしいことだと思えるようになりました。積善社の方は皆さんとても親切で、温かく迎えてくれました。皆さんが「人の心」を大事にされているということを実感いたしました。(齊藤綾香)

葬儀のプロが働いていらっしゃる会社ということで、ピリピリとした空気を想像しながら会社を訪ねましたが、社員の方々は明るくインタビューに答えられました。しかし、私たちの質問に答えようと葬儀の様子や遺族の方々の気持ちに触れるときは表情が変わり、仕事に対する誠意が伝わってきました。会社として取り組まれているお客様のことを一番に考えたサービスや細かい心配りに感銘を受けました。(島明日香)



外国語学部 / 3年
齊藤 綾香

外国語学部 / 3年
島 明日香